

提出日 平成 30 年 11 月 日

平成 30 年度 卒業研究 中間発表会
質問事項に関する回答報告書

所属：電気電子創造工学科 5 年 クラス： L 番号： 19 氏名：田村 峻

研究題目：広域センサネットワークを用いたトラッキングサービスにおけるサービスに不要なプライバシーデータ流出比の定量評価

＜質問内容および質問者＞

見守りを確実にを行うためにはセンシング量がどうしても増えてしまう。「サービスには不要なプライバシーデータの収集」とトレードオフの関係にあると思うが、そのあたりはどう考えているか。

＜回 答＞

実際に使われている監視カメラをもとにセンシング量を決めています。
確かにトレードオフの関係にはありますが、オープンIoTの普及により監視カメラを用いると考えられるため、センシング量の増減は考えにくいです。

＜質問内容および質問者＞

＜ 回 答＞

※ 質問および回答に合わせて各欄の幅を適宜調整して下さい。

提出日 平成 30 年 11 月 日